

＜ グローバルヒストリーと対馬を素材とした 教育教材・学習プログラムの開発 ＞

研究年度 令和 2 年度

研究期間 平成 30 年度～ 令和 3 年度

研究代表者名 松尾晋一

共同研究者名 山田健太郎

山口華代（長崎県学芸文化課）

寺坂悠平（長崎県立対馬高校）

I. はじめに

本研究の目的は、世界史レベルの対馬の歴史を掘り起こし、それを歴史教育の現場で実践する教育教材開発を行うことである。過去2年間「朝鮮通信使絵巻の基礎的分析と教育教材開発」を課題として学長裁量研究費を用いて成果をだしてきた。本年度も同様のテーマで継続する予定であったが、対馬高校の担当者が世界史担当に変わることで、および科目が「日本史探求」「世界史探求」へと変わり、長崎県教育委員会から依頼されている遠隔授業の受講生が日本史及び世界史受講生へと拡大することを昨年度末に予告されたことから、テーマを「グローバルヒストリーと対馬を素材とした教育教材・学習プログラムの開発」へと変更した。

これにより朝鮮通信使から日本史 A、世界 A、そしてそれぞれの探求科目に共通で取り上げられる「アヘン戦争情報」に注目する。幸い長崎歴史文化博物館、対馬歴史研究センター（仮称）、韓国国史編纂員会に關係資料が所蔵されていて、一部史料の収集も終えており、長崎県教育委員会・山口係長、および五島市教育委員会・松崎係長（国境離島文化振興コース：院生）とで、地球規模の変化をもたらしたアヘン戦争情報と対馬がどうかかわるのか分析を行い、山田准教授（国際社会学部）、対馬高校社会科教諭 2 名と教育教材・教育プログラムの開発を進めていく。そして開発したものを使った遠隔授業を実践する。

II. 研究内容

1. 教科書記載内容の確認

対馬高校で実際使用している日本史・世界史のテキストの記述を分析し、テーマの妥当性を確認した。そして、英文教科書と市販の英語による関係分野の記載内容の確認を行った。その結果、アヘン戦争だけではなく、太平天国を加え、事例の比較を行った方が、内容の充実と教育効果を高めることが可能性として高いのではないかとの結論に至った。

2. 対馬関係史料の分析

これまで収集してきた対馬宗家文書を使用して、アヘン戦争情報と太平天国情報の対馬への伝達時期の確定と情報の特質に関する分析を行った。その結果、アヘン戦争情報は江戸経由で、太平天国情報は朝鮮経由で対馬に伝わったことを確認し、朝鮮が太平天国の勢力拡大に警戒感

を高めたことも影響して対馬に質の高い情報が流入していたことを確認した。成果については、「長崎県地方史だより」79号を参照されたい。

3. 教育実践ほか

12月10日 事前打ち合わせ（Zoom利用）

16:30～17:20 対馬高校寺坂（世界史）・原（日本史）、長崎県立大学松尾

12月11日 授業（対馬高校） FW（厳原地区の巡見）

9:50～10:40、10:50～11:40、11:50～12:40の3コマ。

対馬高校生徒49名。対馬高校田川校長ほか。

巡見サポート：畑中佑太、中村秀汰、築城里菜（以上、公共政策学科学生）

1月12日 遠隔授業（Zoom利用）

9:45～10:45

参加者 対馬高校生徒49名。山田健太郎（Zoom利用）

3月15日 反省会（Zoom）

授業内容、生徒のアンケート結果の検証。

16:00～16:40 対馬高校寺坂悠平 山田健太郎 松尾晋一

反省ほか

- ・計画段階では対馬博物館の見学を予定していたが、開館が延期されたことで昨年度に続き、文化年間に実施された対馬府中（現厳原）での易地聘礼を題材として、改善すべき点の改善方法を検討し、ワークシートの再構成を学生にも意見を聞きながら試みた。ポイントは、ワークシートの説明文を増やし、学生の能力に応じたものに改善した。
- ・いきなり遠隔授業をしても生徒との距離感が縮まらず、対面授業に比べて教育効果が上がらないことが見込まれたことから、まず対面授業、フィールドワークを実施することにし、TA（学生3名）を用いることで教員と生徒の距離を縮める方策をとった。昨年度は一週間おいて遠隔授業を試みたが、今回は一ヶ月後に授業を行った。前回より時間が経過したこともあり生徒の記憶が失われ、昨年度より教育的効果が低下した印象を持った。ただし、日常と異なる体験としては生徒に記憶されていることは確認できた。

IV. おわりにかえて

対馬はユーラシア大陸と日本列島の、日本海と東シナ海の結節点である。そのため対馬は、歴史的に世界史レベルの舞台になった。しかし対馬で成長した子供たちの多くは、その事実を知らずに島外へ出てしまう。本研究で行った実践教育は、こうした状況を少しでも変化させることに繋がるのではないかと、3年間を通じて思った。また、種をまき続けることが研究者や教員の使命であることも改めて知れた。